

ヤーボイ治療を受ける 患者さんへ

ヤーボイ治療の注意点をまとめたカードです。
お財布などに入れて、いつもお持ちください。

緊急治療などでヤーボイ治療を受けている
病院や主治医以外の治療を受ける場合は、
このカードを必ずご提示ください。

ヤーボイ治療を受けている病院

病院名

主治医

TEL

私の名前・電話番号

名前

TEL

⚠️ ご注意いただきたいこと

- ヤーボイは重大な副作用を引き起こす可能性があるため、以下の症状に気づいたら直ちに主治医にご連絡ください。
- 軽い症状であっても治療せずに放置しておくことと急に悪化することがあり、重症化することがあります。
- 症状発現の早期に適切な対処を行えば、重症化を防ぎ、ヤーボイ治療を続けることにつながります。
- 過去に臓器移植（造血幹細胞移植を含む）を受けたことがある方は主治医にご連絡ください。
- これらの症状が現れるのは、通常、ヤーボイ治療中ですが、治療が終了してから数週間あるいは数ヵ月後にも現れることがありますので、治療終了後も気になる症状があれば主治医にご連絡ください。
- ヤーボイは胎児に好ましくない影響を及ぼす可能性、流産の可能性がありますので、ヤーボイによる治療中は妊娠を避けてください。

消化器

- 下痢（軟便）あるいは排便回数が増えた
- 便に血が混じる、便が黒い、便に粘り気がある
- 腹痛あるいは腹部の圧痛（押すなど圧迫した時に現れる痛み）がある

眼

- 視界がぼやける、物が二重に見える、いつもと見え方が異なる
- 眼が痛い、充血がある

皮膚・粘膜

- かゆみがある
- 発疹がある、赤くなる（かゆみがある場合と、ない場合がある）
- 口内炎
- 皮膚がむける（水ぶくれがある場合と、ない場合がある）

その他

- 発熱がある
- 息切れ、息苦しい
- 吐き気や嘔吐がある
- めまいや失神がある
- 疲れやすい
- 頭痛がある
- 足、腕、顔に力が入らない
- 筋肉の痛み
- 行動の変化がある（性欲が減る、いらいらする、物忘れしやすい等）
- いつもより出血しやすい、あざがしやすい
- 手足がしびれたり、刺すような痛みがある
- 濃い色（赤褐色や褐色）の尿がでる
- むくみがある
- 皮膚や白眼が黄色くなる
- 胸痛がある
- 動悸がある

- 副作用と思われる症状を市販薬や健康食品で対処した場合、症状を一時的に隠し、副作用を悪化させる可能性があります。ご自身の判断で対処を行わず、主治医に連絡をしてください。
- 主治医以外の医療機関を受診する場合は、本カードを提示して、ヤーボイ治療中であることをお伝えください。

医療関係者の皆様へ

ヤーボイ点滴静注液50mg（一般名：イピリムマブ）は従来の抗悪性腫瘍剤とは異なり、T細胞上の負の免疫調節因子であるCTLA-4を阻害することで、免疫活性化状態を維持し、腫瘍増殖を抑制する作用を有します。

重大な副作用には大腸炎、消化管穿孔、重度の下痢、肝不全、肝機能障害、重度の皮膚障害（中毒性表皮壊死融解症を含む）、下垂体炎、下垂体機能低下症、甲状腺機能低下症、副腎機能不全、末梢神経障害、腎障害、間質性肺疾患、Infusion reaction、筋炎、心筋炎が現れることがあります。上記の副作用以外に、本剤の薬理作用に基づき発現が想定される過度の免疫反応に起因する重度の副作用が発現しています。

副作用の大半はヤーボイ投与期間中に発現しますが、ヤーボイの投与を終了して数週間から数ヵ月後に現れることもあります。

重大な副作用の徴候が見られた場合は、本剤以外の要因がないかを検討した上で、下記の手順を実施していただきますようお願いいたします。


- 本カード表面に記載されている主治医の先生にご連絡いただき、副腎皮質ホルモン剤の全身投与を考慮してください。
- 下記のヤーボイの製品ウェブサイトより、ヤーボイ添付文書および適正使用ガイドをご確認いただき、各副作用の管理アルゴリズムに準じた治療を行うことをご検討ください。

ウェブサイト


<https://www.yervoy.jp/>

ご不明な点は

ブリistol・マイヤーズ スクイブ株式会社
メディカル情報部

 **0120-093-507**

小野薬品工業株式会社
くすり相談室

 **0120-626-190**

にお問い合わせいただけますようお願いいたします。

以上